

二学期は、僕にとって大きく成長できた学期でした。それには、二つのきっかけがありました。

一つは新人戦です。僕は陸上部に入っています。陸上の新人戦は、他の部よりも早く、少し肌寒い季節に行われました。結果は、市内大会で同着一位。しかし、県大会では手も足も出ず、予選落ちでした。県大会で、僕は一つの教訓を得ました。それは、「自分が今している努力は、他の人から見ると努力とは言えないかもしれない」というものです。県大会の少し前、自分と同じ年齢のときに全国大会で優勝した方が、練習に混ざってくださいました。そのとき、同じ動きのはずなのに、その方の一つひとつの動きの質が、ぜんぜん違うことが見て取れました。それはおそらく、日頃の努力が作ったものなのだと思います。僕も普段から全力で練習に取り組んでいるつもりでしたが、その方は、それよりもずっと多量の努力をされてきたのだと感じました。陸上は主に個人競技です。スタートラインに立ったとき、信じられるのは自分だけです。そこで、周りに飲まれず自分の力を発揮できるかどうかで、タイムも順位も決まってきます。県大会の結果は残念でしたが、おかげで、これからも惜しまず努力しようと思うことができました。

成長できたもう一つのきっかけは3デイズです。3デイズは保育園に行きました。そこで気づいたことは、いま、僕たちが送っている生活は、自分たちの親や先生との関わりが深いということです。保育園では、分からないことがあると、園児たちは先生に何でも聞いていました。僕はそれを見て、子供だなと思いました。しかし、今の自分たちの生活とどれほど違うだろうかと考えると、実はそれほど変わらないのかもしれませんが。僕はまだまだ子供ですが、少しずつ大人に近づいていきます。義務教育が終わればなおさらです。そう考えると、何でも先生に聞くというのではなく、自分で考えて行動することが大切だと思いました。このように3デイズは、自分を見つめ直す良い機会でした。

二学期はこのように、大きく成長できたと思います。三学期は、一年生で最大の行事ともいえるスキー教室があります。二学期に学んだことを生かして、これまでの自分を越えられるようにがんばっていきたいです。